

# INTERVIEW

## ■ 七十七銀行

### 2024年度 法務3級、財務3級、税務3級の最優秀団体賞三冠達成！ その秘訣を人事部に聞く

七十七銀行は、宮城県のリーディングカンパニーとして地域とともに歩み、個人や企業向けに幅広い金融サービスを提供する地域金融機関です。人材育成の取組みとして、若手行員研修会において、自主的に集まり学習する機会を設けているなど、積極的に受験学習に取り組み、2024年度は銀行業務検定試験の3回の実施において、すべての回で最優秀団体賞（「法務3級」、「財務3級」、「税務3級」）を受賞されました。

今回快く取材に応じてくださいましたのは、人事部研修課の佐藤卓さんです。

#### Q 人材育成上、銀行業務検定試験をどのように活用されていますか。

銀行業務検定試験について、当行では、若手行員が自分の業務に役立てるための手法の1つと捉え、試験を通して自分のスキルアップにつなげてほしいと考えています。日常の業務のなかだけで銀行員として必要な知識を習得するには時間がかかりますが、試験を活用することで業務に関連する知識を一定水準まで到達させることが可能です。また、試験に合格することで意欲やスキルの見える化にもつながるほか、後輩行員が先輩行員よりも先に2級に合格するケースなどは先輩行員を鼓舞することにもつながっています。試験で優秀な成績を収めた行員については行内向けのニュースに掲載する取組みなど、頑張っている行員にスポットライトを当てて周知することにより、自己啓発のモチベーションが向上する取組みも行っています。



▲ 佐藤卓さん

#### Q 2024年度、最優秀団体賞を3回受賞されましたが、試験に向けてどのような取組みをされていますか。

まず、2024年6月実施の「財務3級」では、研修所に集合して行う新入行員研修中、財務の学習を自発的に行う環境を整えました。確認テストも実施することで、アウトプットを通じた自らの理解度の確認も定期的に行いました。また、この経験から、目標を掲げ、自律的に学ぶ習慣が身についたことが、今回の結果につながったと考えています。

#### Q 試験前行員が自主的に集まり学習する機会があるとのことですが、詳しく教えてください。

当行では、宿泊の研修期間中、行員が自主的に学習できる場所を用意しています。毎日17時30分から22時まで、各自で学習ができるように、自習室を開放しており、多いときには約30名の行員が参加しています。「財務3級」については問題解説集を銀行負担で用意し配付していますが、場所だけを用意しても学習が進まない

場合があるので、定期的に研修課のスタッフである私たちも巡回し、学習の進捗状況を確認し、内容について質問があれば答えることもしています。合宿形式の研修だからこそ、わからないところを気軽に質問できたり、周囲と情報交換をしたりできる環境があるといえます。この自習の機会は毎年の新入行員研修会で実施され、代々受け継がれています。

**Q 研修中の自主学習の機会を通して、行員の方向に変化はありましたか。また、銀行全体にどのような影響がありましたか。**

わからないことと向きあっていると、時につらさや孤独を感じることもあると思います。しかし、研修中はそうした気持ちも仲間と共有し、課題にしっかりと向き合うことができます。また、「みんなが頑張っているから自分も頑張ろう」といった声も多く聞かれ、新入行員にとってチャレンジするきっかけとなっていました。銀行全体としては、学習を通して良い結果が出たことで、若手行員のスキルアップを図ることができ、さらに若手行員の頑張りを周知することで、各所属内でのコミュニケーションにつながるほか、中堅行員が奮起するきっかけにもなっています。

**Q 現在取り組まれている人材育成教育や研修体系について教えてください。**

2025年4月より行員一人ひとりの「なりたい姿」実現に向けた取組みを支援するために、キャリアマイレージ制度を中心に、自己啓発ツールの提供と費用補助を組み合わせた7つの施策「SEVEN パック」を打ち出しました。資格や検定試験の合格等はマイルとして累積され、一定のマイル数に到達した行員を「キャリアマイスター」として認定・表彰し、翌年度の自己啓発に要した費用補助額を増額します。こうした取組みにより学びを習慣化し、スキルを高め、成果につなげてほしいと考えています。また、研



▲ 七十七銀行研修所

修について、以前は指名制のものが多かったのですが、公募制の研修も増やし、行員が自律的にスキルアップを図ることができる施策を実施しています。

**Q 最後に、貴行が求める人材、人物像を教えてください。**

当行グループを取り巻く事業環境が変化し、お客様のニーズが多様化するなかで、コンサルティング等の専門性と豊かな人間力を兼ね備えた「顧客・地域に役立つ人材」および挑戦的な企業文化の確立に向けたチャレンジ精神溢れる「企業変革に資する人材」の育成を目標に掲げています。引き続き人材育成を通じてお客様や地域に貢献できるよう、尽力してまいります。

(お忙しいなか、取材にご対応くださいました佐藤さんに心より感謝申し上げます)

